

水痘(みずぼうそう)

原因

水痘と帯状疱疹は水痘-帯状疱疹ウイルスと言う同じウイルスによって発症します。このウイルスに免疫を持たない人が初めて感染すると水痘を発症します。

感染経路

鼻・喉・結膜からの飛沫感染です

潜伏期間

14 ～ 21 日

感染期間

発疹がでる 1 ～ 2 日前から発疹出現後 5 ～ 6 日間です。特に発病初期に極めて伝染力が強いのが特徴です。

好発年齢

幼児から学童に多く発症します

症状

胴体を中心に、赤い発疹ができ、それがすぐ水疱に変わり、やがて黒ずんで乾いていきます(痂皮化)。発病後 4 ～ 5 日間は新しい発疹が出現し、新旧各段階の発疹が混在します。頭髪部や粘膜(口腔、陰部、結膜)にもできるのが特徴です。発疹の出方は個人差があります。いずれにしても約 1 週間で治ります。

治療と家庭看護

ウイルスに効く内服薬(アシクロビル)があり、発疹発現後 1 ～ 2 日以内に飲み始めると軽症化する事ができます。痒みを軽減する目的でフェノール亜鉛華リニメント(カチリ)を塗布します。重症例にはアシクロビルの点滴を行います。やはりできるだけ早期に開始する必要があります。

●食事:

いつも通りでよいのですが、口内炎を起こしている時は軟らかいもの、流動食がよく、酸っぱいものや辛いものは避けます。

●清潔:

かゆがって爪でひっかくと、化膿することがあるので 爪は短くし清潔にしておきましょう。

●入浴:

水疱が乾いてきたら入浴は構いませんが、ゴシゴシこすらないで下さい。

隔離期間

全ての発疹が痂皮化すれば登園・登校は構いません。自然経過で7～10日、抗ウイルス剤で治療すると約5日に短縮します。

解熱剤の使用について

水痘にかかった時に解熱剤としてアスピリン（バファリン）などのサリチル酸製剤を使ってはいけません。ライ症候群という重病にかかるかも知れないからです。当院ではアセトアミノフェン（カロナール）を使用しています。

合併症

水痘脳炎があります。水痘患者の数千人に1人の割合で発症します。高熱、頭痛、嘔吐、痙攣、歩行障害、意識障害などが主な症状です。ごく少数を除き、大部分は完全に治ります。

予防法

水痘ワクチンの接種(自費)

帯状疱疹(帯状ヘルペス)

原因

水痘-帯状疱疹ウイルスは水痘の感染後、神経節に潜んでおり体力が低下したりすると帯状疱疹として発症します。

症状

一定の神経支配領域に強い発赤を伴う小水疱を生じ、発疹は神経の走行に沿って、集簇性または散在性に配列して身体の半身に生じるのが特徴です。小水疱は膿疱となり、黒褐色の痂皮をつくって約3週間で治癒します。
多くの場合は神経痛を伴い、治癒後も強い痛み(疱疹後神経痛)が残ることがあります。眼瞼に生じると眼球がおかされることがあります。

治療

抗ウイルス薬の点滴静注か内服をできるだけ早期に行います。局所には抗ウイルス薬の軟膏を塗布し、できるだけ外気に直接触れさせないようにします。

(2002.8)